

## 浮島校区まちづくり懇談会 開催結果報告書

開催日時 平成29年8月21日（月）19時～20時40分  
場所 浮島公民館  
司会・進行 岡部連合自治会長  
参加者数 男35人 女6人 合計42人



### 1. 市の重点事業に関する質問

#### 質問①（連合自治会長）

3市が一体となった事業の取り組みについてですが、3市がこれまでのように個別の取り組みをしてはいけないと思う。人口30万規模の中核市（特例市？）の目標はあるのか？

#### 回答（市長）

地方創生に取り組んでいくとはいえ都市競争と衰退で難しくなってくる。3市は産業構造も似ていて、交流人口も多い。今後においても3市（新居浜・西条・四国中央）の連携を強め、総人口30万人ということで、松山に対抗できる連携を進めていく必要がある。

そのきっかけとして、今回はその一環として3市に愛媛県を巻き込んでイベント事業を行う。これまでに南予で2回、しまなみで1回実施しており、ぜひ東予地方で実施したいと要望し事業化に至った。

### 2. 校区課題

＜平成29年度地域課題＞

#### ①課題名（浮島小学校北側の通学路整備について）

#### 質問（浮島自治会副会長）

浮島小学校北側の東西に延びる道路については、通学路としても利用されているが、普

通車がぎりぎり通れるほどの道幅しかなく、両側がブロック塀のため、車と歩行者がすれ違う際には接触の恐れもあり、大変危険な状態になっている。

また、火事などの災害発生時にも道幅が狭くて消防車が入れない。

そこで、浮島小学校の北門から西にかけて浮島小学校の敷地を削って、ブロック塀を南に後退させることにより道幅を拡幅し、歩行者が安全に通行できるグリーンベルトの設置をお願いする。

そろそろ傷みが目立ってきたブロック塀の改修工事の計画の際に、是非、道路拡幅を盛りこんでいただけたらと思う

回答（建設部長）

平成26年度に通学路の合同点検ということで小学校関係者と安全対策について協議を行い、拡張しないほうがドライバーが気をつけて運転するので、当面様子を見るという結論に至った。道路管理者としては、小学校や地元の総意として道路の拡張が必要であるということであれば、学校側と道路用地に転用できるかどうかを検討し、可能であれば次回のブロック塀の更新の際に施工できるように考えていく。

回答（教育長）

体育館とブロック塀の最も狭い場所では1mほどしかないが、要望のあった拡幅については、小学校として支障はないが、西門を活用することも含め、児童の安全確保を目的に、学校及び地域と検討していきたい。ブロック塀についても、築造から長期間経過していることから、改修時期についてはそう遠くないと考えている。

## ②課題名（用水路のグレーチング化工事続行について）

八幡一丁目12番付近の水路へのグレーチング設置については、平成21年に工事が着工したが、申請工事区間の半分で工事がストップしている。そのため路肩のグレーチングが急になくなる状態となり、歩行者や車両の落下の危険があるため、パイロンを置いて注意を促している状態である。安全な通行のため、早急な工事再開をお願いする。

回答（建設部長）

改良区水路であり、当時用水の通水時にオーバーフローする恐れから通水断面の確保のため、施工を見合わせている。もし、当時と状況がかわっているのであれば、再度検討させていただきたい。地元には、地域住民及び土地改良区の調整をお願いしたいと考えている。

再質問（浮島連合自治会長）

当時の中断については了解しているが、水路の利用状況も変わり、水流も減り、改良区の了解もとったと思う。が、なかなか施工されないので、再度確認すると、2年続けて申請がなかったから、工事はしないという回答だった。通学路でもあることから、安全対策として実施してほしい。

回答（建設部長）

改良区の了解があり、水流が減っているのであれば、再考する。

### ③課題名（道路の白線斜線の引き直しについて）

質問（浮島自治会副会長）

八幡一丁目 15 番 30 号佐々木釣具店東側道路上に引かれている、車両のスピード出しすぎ防止のための白色斜線が消えかかっている場所があることから、再塗装の実施をお願いする。

回答（建設部長）

現状は全体的に認識はできるものの、部分的には消えている個所もかなりあることから、市内他の地区との優先順位を勘案しながら、順次進めていきたい。

再質問（連合自治会長）

設置した時は、警察と道路課でふりかけあいをして最終的に市が白線を引いた。交通量も多く、見通しが悪い交差点なので、白線を引き直してほしい。

回答（建設部長）

市内各所同様の状況があるので、優先順位を決めて対応する。

### ④課題名（用水路の全面コンクリート蓋設置について）

質問（浮島自治会副会長）

八幡一丁目 1 5 番 3 0 号佐々木釣具店から南に延びる用水路においては、一部進入路として蓋がかかっている部分は有るが、その他の部分については、柵もなく高齢者や幼い子などが、誤って落下する危険性がある。通行の安全のため及び土砂・ごみ落下防止のため是非、コンクリート蓋の設置をお願いする。

回答（建設部長）

改良区管理水路であり、すでに宅地の進入路として部分的に架橋されている。この状況で蓋をかけるには、宅地との高さ調整が難しく、ほかに電柱の宅地内への移転も必要になり、掃除等の管理が難しくなることから、転落防止柵を設置する方向で対策を考えていきたい。

再質問（浮島連合自治会長）

地域住民の高齢化が進み、水路清掃も難しくなっている。安全柵については希望しない。幹線に出るメインの道路で通行量も多く、年数がかかってもいいので、架橋してほしい。

回答（建設部長）

宅地進入路の取り合いが難しいため、転落防止対応として、一時的に柵をしたい。

再質問（浮島連合自治会長）

柵は地元の了解が難しい。

回答（建設部長）

現地を見ながら検討して、あらためて相談させてほしい。

### ⑤課題名（生活道路の速度抑制策実施について）

質問（浮島自治会副会長）

八幡二丁目 5 番から 8 番までの市道については、前の画面でお判りの通り、直線道路という事もあり車両通行時のスピードが早くなり、地域住民に事故発生の危機感が出ている。

そこで、車の速度低下等を目的としたハンプの設置、運転者・歩行者の注意喚起を目的とし路肩のカラー化、路面標示や看板の設置など、現場に合った対策をお願いする。

回答（建設部長）

減速マークの設置を考えている。提案のあったバンプについては、車両が通行する際に騒音や振動が発生することから、通常住宅地では設置ができないと考えている。地元の方が利用する生活道路であることから、自治会・校区のほうから住民の方々に安全な運転について啓発していただきたいと考えている。

再質問（浮島連合自治会長）

自治会内の住民でなく、垣生方面から通過していく車両がふえて危険になっている。

回答（建設部長）

「減速」の路面表示を設置するのが妥当な対応と考えている。

### 3. その他

質問（参加者）

生活道路については、安全を第一に考えてほしい。

市内には、道幅が狭い割には開口の水路が多い。高齢者が増えて、転落を心配している。

松の木も道路横の開水路が多く、蓋がけを要望はしているが進んでいない。

優先順位を決めて、順次対応してほしい。安全のまちづくりをするのであれば、ぜひ進めていただきたい。

回答（建設部長）

ほとんどが農業用水路であり、水路管理者との協議が必要なので、協議が整ったところから、順次考えていきたい。

まとめ（市長）

道路についての要望については、できるだけ速やかに対応したい。

水路については、地元の意見を聞きながら管理者と協議を行い、相談しながら進めていきたい。その他、地元潜在する危険箇所についても随時相談をいただくことで、安全安心なまちづくりを進めていきたい。